

令和7年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	① 住民同士の交流機会が少ない ② 高齢者の交流する機会が減少している
------	--

事業名	推進方法	評価
しもたどフェスティバル開催事業（協働開催）	1) 地域交流会の開催：『しもたどフェスティバル』の開催 2) 開催日：令和7年8月14日（木曜日）に開催を計画 3) 会 場：プラザしもたど （駐車場全面 ＋ 南濃コミュニティーセンター含む全館） 4) しもたどフェスティバル実行委員会に加わり、部会の活動を実施する。 ①『ぬり絵・射的・ストラックアウト・輪投げ・スポーツ吹矢』などを企画して実施する。 ②新規イベントを企画検討する。 5) 自治会・中学校・小学校などに周知して、協力を要請する。 6) 中学生・小学生など、各種団体・個人へ、参加を募る。 7) 各種感染症防止対策を、海津市・自治会・実行委員会などの関係者と相談して実施する。 8) 真夏の開催で最近の危険な暑さのため、スタッフ・参加者年齢を考慮した暑さ対策を検討して実施する。	○

現状及び今後の方針
・ぬり絵参加者で、下多度小学校の児童だけでなく、近隣小学校の児童の参加や、中学生の参加が増加した。 ・5種類の遊具による遊びのほかに幼児用遊具室を加えて、参加方法（景品など）・PRを検討する。 ・種目別の景品取得の偏りを減少できたと思われるが、一部で景品の不足があり増量を検討する。 ・中学生のボランティア担当者は、他種目への参加などの分散を検討する。 ・中学生以上、親子・三世代などの参加を含めた新企画（景品なし）を検討したい。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和 7 年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
重点課題	高齢者の交流機会が少ない

事業名	推進方法	評価
広域サロンの開催	・下多度地区全体を対象にする「しもたどサロン」を開催する。 ・地域の多くの高齢者の集いの場になるよう「ひとり暮らし高齢者の集い」を兼ねて開催する。 ・自治会長会や、自治会区域で行われているサロンを通じて、参加の呼びかけを行う。 ・お弁当を用意し、皆で会食ができるようにする。 ・出し物は、昨年のように参加型の取り組みを検討していく。 ・リーフレットをつくり、自治会毎に集約をお願いするとともに、地域のサロンでも参加の呼びかけをお願いする。 ・自治会との連携もしっかりと取り、内容なども相談できるようにしていくことを検討する。 ・他地区の活動を参考にする。	○

現状及び今後の方針
ひとり暮らし高齢者の集いを兼ねたしもたどサロン、今年度も 80 人を超える参加をいただき、楽しんでいただけた。 毎年、ひとり暮らし高齢者の約半数の皆さんに参加いただいていたが、今年度は 31 名中 8 名に参加にとどまったのが気がかり。 来年度も継続実施する。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	子どもたちのつどう機会の創出
------	----------------

事業名	推進方法	評価
子どもの活動を豊かにする事業	・子ども、保護者、子ども会、学校と連携し、楽しい遊びを通じて地域の良さを再確認してもらう。 ・講師を招き、生物の多様性を勉強し、外来魚の駆除事業をする。 ・だんだん公園キャンプ場でバーベキューと星空観察会を実施する。 ・お寺を利用した地元歴史の勉強会と縁日を実施する。	○

現状及び今後の方針
計画した3つの行事を、天候にも恵まれて無事に実施できた。 ①津屋川の堤防東、株池で外来魚の駆除を目的とした魚釣り大会 ②小学校の体育館で「夏の大三角形の勉強」と、運動場での天体望遠鏡を使った星空観察 ③本慶寺の本堂および境内を利用した縁日 次年度も魚釣り大会と縁日のほか、児童及び保護者の希望を聞きながら、新しい催しを検討する。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	高齢者の買い物や通院の手段がない高齢者の支援
------	------------------------

事業名	推進方法	評価
高齢者 移送サービス事業	・高齢者のセーフティネットとして、高齢者送迎サービス事業を継続実施する。 ・継続して、協力会員の募集を行う。 ・協力会員の負荷軽減のため、適宜利用会員に対して節度ある利用の呼びかけをする。 オンデマンドバスの活用 親族や知り合いへの応援要請 養老鉄道の利用 特定ボランティアへの集中回避 など	○

現状及び今後の方針
新たに、長寿の里・南濃と協働で「買い物ツアー」が10月から実現した。 ボランティアのインセンティブとして、市の「高齢者等移動支援事業補助金制度」を利用して、令和7年7月以降の活動に対して、ボランティアに謝礼金を支払うこととした。 「高齢者移送サービス」および「買い物ツアー」を継続実施する。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	高齢者の生活支援ニーズが多岐にわたり拡大している
------	--------------------------

事業名	推進方法	評価
生活支援「ちょこっとお手伝い」事業	・高齢化に伴い、高齢者が自分でできなくなった作業を支援する。 【対象】 民生委員児童委員の見守り対象世帯とする。 1 時間程度でできる比較的簡単な作業 ・依頼内容は草刈り、庭木の手入れに集中している。 他にも困りごとがあると思われるため、民生委員児童委員を通じてリーフレットなどで、隠れたニーズの顕在化と利用を促進する。	○

現状及び今後の方針
利用者の拡大はなかったが、以前から制度を利用している方から継続して申し込みを受けて活動している。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	子どもたちの安全・安心な登下校環境の確保
------	----------------------

事業名	推進方法	評価
通学路安全確保事業	・下多度小学校、PTAなどと協力し、通学路の安全点検を継続するとともに、通学児童の見守り活動を行い、安心・安全を確保する。 ・スクールガードボランティアによる下校時の見守りを継続する。 見守りは、できる人ができる範囲で、登校日に実施する。 原則として毎月第1・第3水曜日を、重点活動日として活動する。 重点活動日は、下多度小学校と調整して決定する。	○

現状及び今後の方針
年々、児童人口の減少で寂しい限りではあるが、引き続き活動を継続する。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和 7 年度 下多度地区福祉活動評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	防災意識の高揚と、各家庭の備えの強化
------	--------------------

事業名	推進方法	評価
啓発活動による 防災意識の高揚と、 各家庭の備えの強化	○自主防災組織への働きかけと提案 ○啓発活動の推進 ・防災かわら版 → 2 か月に 1 回発行 ・防災ポスター → 3 か月毎に更新 ・研修会の開催 ○避難所の開設、運営方法の勉強会	○

現状及び今後の方針
令和 7 年度の自治会への働きかけ ・6/28 自治会長会 土石流災害と南海トラフ地震についての説明会 ・10/4 自治会長会 昭和南海トラフ地震での近隣の被害状況と家庭の備えの推進 ・10/12 志津新田自治会 同上 ・2/1 西園自治会役員会 同上 令和 8 年度について ・自主防災組織への働きかけと提案は、今後も続けていきたい。 ・防災かわら版 → 隔月発行を継続する。 ・防災ポスター → 3 か月ごとの更新を継続する。 ・研修会の開催を検討する。

評価 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった